

令和2年度東京都MICE連携推進協議会 開催概要

日 時 令和3年1月29日(金曜日)14時から16時

場 所 京王プラザホテル「錦」及びオンラインによるハイブリッド開催

出席者 令和2年度協議会委員16名

協議内容

- ・観光庁からの説明
- ・事務局からの報告
- ・各部会からの報告(国際会議誘致部会、ユニークベニュー部会、拠点部会、テクノロジー部会)
- ・議事

開催概要

本協議会では観光庁から来年度の施策等についてご報告いただきました。事務局からは今年度の取組、各部会からは今年度の活動につき報告がありました。議事については各部会から挙げられた各課題(安全・安心なMICE運営への取組強化とPR、DX(デジタルトランスフォーメーション)、人材育成)への対応と、コロナ収束を見据えたMICEに関する取組につき議論致しました。

委員からの主な意見(要旨)

【各部会から挙げられた各課題への対応】

- コロナ収束後のMICE誘致に向けて安全・安心なMICE運営や感染症対策のガイドラインを国内外に広くPRするなどの取組が必要。
- 都内のMICEは安全・安心な感染症対策をとった上で開催しているということ、都民の皆様にも理解してもらう必要がある。
- 業界向けに、新しいテクノロジーの活用と共に安全・安心な開催を示せるような模擬MICEの実施はどうか。
- 会場運営ディレクターと映像オペレーターの境界線が曖昧になる中、それぞれの専門性を高めながらも垣根を越えた人材育成が必要。
- ハイブリッド等の多様な開催形態に対応できるよう、最新テクノロジー技術の習得だけでなく企画提案ができるような人材の育成が必要。

【コロナ収束を見据えたMICEに関する取組】

- 諸外国のように一般観光とMICEは明確に区別し、積極的にMICE施策を推進するべき。
- 技術など新しい情報が出てきている中で、東京観光財団が中心となり、MICEを軸にした官民の連携を図っていくべき。
- 経済波及効果以外にも、MICE開催がもたらす効果について検証することが必要。
- ハイブリッド、リアル会議の再開に備え、コンテンツ開発などの準備が必要。